2025（令和 7）年度 現代文化学部 卒業時アンケート結果

ＩＲ委員会
ＩＲ課

Ⅰ．現代文化学部卒業時アンケート調査の概要

１．目的

1） 学生自身が４年間の現代文化学部における学びを振り返り、現代文化学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。

2） 1）の結果に基づき、現代文化学部の継続的な教育改善に役立てる。

２．実施

1） 対象：東京純心大学現代文化学部　2025（令和 7）年度卒業生 14 名

2） 時期：2026（令和 8）年 1 月 24 日（土）

3） 配付・回収方法：2026（令和 8）年 1 月 24 日の卒業論文・研究・制作発表会にて、
ホワイトボードへ掲示を行い、回答。

4） 回収状況：14 名（2025（令和 7）年度卒業予定者 14 名）回収率 100％

３．質問項目

1）ＤＰ（「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

2）現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）について

3）現代文化学部の支援について

4）学生の成長について

5）現代文化学部の教育に対する満足度について

Ⅱ　調査結果

１．ＤＰ（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

			1 身についていない	2 あまり程度身についている	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
ＤＰ１	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	豊かな感性と教養	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	8 (57%)	5 (36%)
		保育・教育の高度な知識と技術	0 (0%)	1 (7%)	1 (7%)	9 (64%)	3 (21%)
		こどものからだ、こころ、あそびを理解して主体的に思考する力	0 (0%)	1 (7%)	1 (7%)	8 (57%)	4 (29%)
ＤＰ２	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	子どもの幸せと平和を願い求める力	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	5 (36%)	8 (57%)
		地域の人々と痛みや喜びを分かち合う力	0 (0%)	2 (14%)	1 (7%)	7 (50%)	4 (29%)
		創造的なコミュニケーション能力	0 (0%)	3 (21%)	1 (7%)	6 (43%)	4 (29%)
ＤＰ３	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	保育者としての高度な専門的な知識や技能	0 (0%)	1 (7%)	4 (29%)	7 (50%)	2 (14%)
		「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断する力	0 (0%)	1 (7%)	2 (14%)	6 (43%)	5 (36%)
		子どもの命を守り育てる力	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	7 (50%)	6 (43%)

☞　ＤＰの資質・能力に関して、「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、ＤＰ１、ＤＰ２、ＤＰ３共に約 70%を越える結果となった。

ＤＰ達成状況

		1 身についていない	2 あまり程度身についている	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
DP 1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	0 (0%)	3 (7%)	2 (5%)	25 (60%)	12 (29%)
DP 2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	0 (0%)	6 (14%)	2 (5%)	18 (43%)	16 (38%)
DP 3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	0 (0%)	3 (7%)	6 (14%)	20 (48%)	13 (31%)

☞「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、「ＤＰ１」が 89%、「ＤＰ２」が 81%、「ＤＰ３」が 79%となっている。

【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv. 0-4	学修評価 Lv. 1-4
DP1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	3.10	4.63
DP2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	3.05	4.41
DP3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	3.02	4.75

＊自己評価は「⑤身についている」を４点、「④ある程度身についている」を３点、「③どちらともいえない」を２点、「②あまり身についていない」を１点、「①身についていない」を０点として換算
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価ＧＰの平均

２．現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）について

		1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 満足
1)	４年間の講義について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	6 (43%)	6 (43%)
2)	４年間の演習について	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	8 (57%)	5 (36%)
3)	４年間の実習について	0 (0%)	1 (7%)	2 (14%)	6 (43%)	5 (36%)
4)	現代文化セミナーについて	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	5 (36%)	7 (50%)

２．現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）について

〔自由記述〕

(1)４年間の講義について
【３ どちらともいえない】と回答した理由 ・興味を持てる講義とあまり興味が湧かない講義があったから。 ・可もなく不可もなかった。 【５ 満足】と回答した理由 ・少人数で充実していた。 ・自分が触れてこなかったものを多く講義を通して経験することができたから。 ・優しく、分かりやすく、丁寧に教えていただきました。 ・とても満足です。

(2)４年間の演習について
【２ やや不満】と回答した理由 ・演習の授業はそんなに多くなかった気がするから。 【５ 満足】 ・実践的な物を多くやらせていただいた。 ・演習を行うことで、子どもの実態を視野に入れながら授学ぶことができました。

(3)４年間の実習について
【①改善の必要がある】と回答した理由 ・施設はあまり良くないところがあった ・実習日誌はいらないと思う 【③改善の必要がない】と回答した理由 ・適切に対応してくれる

(4)現代文化セミナーについて
【３ どちらともいえない】と回答した理由 ・可もなく不可もなかった 【５ 満足】 ・先生方が丁寧に寄り添ってくれた。 ・とても大変でしたが、現場の実際を知れ良かったです。実習後の先生方との反省会でも労いの言葉と指導の両方をして頂けて、充実しました。 ・大変こともあったが、振り返るととても充実していたものでした。 ・子供と触れ合う機会があり、とても貴重な体験をさせていただきました。

☞現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育（現代文化セミナー））の満足度について、「４やや満足」、「５満足」と回答した割合は、講義・演習・初年次教育が 80%以上、実習が 79%と満足度が高い結果となった。

３．現代文化学部の支援について

		１全く充実していなかった	２充実していなかった	３どちらともいえない	４充実していた	５とても充実していた
(1)	アドバイザーによるサポート・相談について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	5 (36%)	7 (50%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	4 (29%)	8 (57%)
(3)	卒業論文・研究・制作に対する支援について	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)	6 (43%)	7 (50%)

〔自由記述〕(記述の後の丸数字は、回答番号)

(1) アドバイザーによるサポート・相談について

【４充実していた】と回答した理由
・しんみになってくれた。
・成績や授業のことなどいろいろな相談ができた。
【５とても充実していた】と回答した理由
・学校のことのみならず、家族の話や友人の話など親身になって聞いてくださったため。
・手厚くサポートをしていただけたため。
・就職の進路を決める際、丁寧にどうするのかをサポートしてくれた。

(2) 進路・就職に対するサポート・相談について

【５とても充実していた】と回答した理由
・対策を一緒に考え、励ましてくださったため。
・不安な事を支離滅裂な言葉で伝えただけで、自分の困りを言語化してくれ、それに応じた対応をしていただきました。

(3) 卒業論文・研究・制作に対する支援について

【３どちらともいえない】と回答した理由
・的確なアドバイスをしていただいた。
【５とても充実していた】と回答した理由
・1年から論文を作る基礎を授業で固めていたため。
・担当教授に手厚く支援していただけたため。
・筆箱の制作の際、先生が持っている機械を使わせてもらったり、設計図を作る時に相談に乗ってくれたりしてくれたから。

☞「５とても充実していた」、「４充実していた」と回答したものを合わせると、「(1) アドバイザーによるサポート・相談」、「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」、「卒業論文・研究・制作に対する支援」が 80%以上であった。

４．本学での学びや体験を通じた成長について

	１全く成長しなかった	２成長しなかった	３どちらともいえない	４成長した	５大いに成長した
本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	1 (7%)	0 (0%)	1 (7%)	5 (36%)	7 (50%)

〔自由記述〕

【４成長した】と回答した理由
・保育者としての基礎知識や、無意識の行動などが特に身についたと思います。
・自ら学びに向かう力や、行事などで仲間と協力しやり遂げる力が高まった。
【５大いに成長した】と回答した理由
・保育に関する知識を蓄えることができたことに加え、文章力や対話力が身についたところ。
・人前で発表する力が養われた。
・自分で考えて行動する力。責任感が強まった。
・最後までやり通そうと、以前よりも思うことが増えた。

☞80%の学生が「５大いに成長した」、または「４成長した」と回答している。

５．現代文化学部の教育に対する満足度

	１全く満足していない	２満足していない	３どちらともいえない	４満足している	５大いに満足している
現代文化学部の教育に満足しているか。	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)	5 (36%)	8 (57%)

〔自由記述〕

【４満足している】と回答した理由
・課題の量が適量であり、授業内でのグループワークでは、多くの学びを得ることができた。
・少人数で先生との距離が近く、熱心に教えてくれる。
【５大いに満足している】と回答した理由
・先生が親身になって教えてくれた。
・保育のことについて実践も交えながら専門的なことをしっかり学べたから。

☞「⑤大いに満足している」、「④満足している」と回答したものを合わせると 93%と満足度が高い結果となった。

６．東京純心大学について、改善するともっとよい大学になると思うこと

〔自由記述〕

・現代文化の色々な伝統を少しでも残して欲しいです。
・他学部や他学年と関わる機会が少ないので、合同で行う授業などがあるとコミュニケーションの幅が広がると思う。
・空調や Wi-Fi が快適に使えると良いと思う。